

—関連施設だより—

## 地域包括ケアを目指して

横倉 稔明

医療法人・社会福祉法人愛正会

Build the Community-based Integrated Care System

Toshiaki Yokokura

AISEIKAI, Healthcare Corporation and Social Welfare Corporation

医療法人・社会福祉法人愛正会は昭和52年に茨城県日立市田尻町において田尻ヶ丘病院（70床）を開設しました。現在では茨城県北部を中心に医療・福祉分野において「田尻ヶ丘病院」270床、やすらぎの丘温泉病院172床、在宅支援診療所 安良川クリニック、安良川訪問看護ステーション、身体障害者療護施設「愛正園」60床、特別養護老人ホーム「松籟荘」88床、「松籟荘サテライト安良川別館」29床、介護老人保健施設「田尻ヶ丘ヘルシーケア」100床、重症心身障害児施設「水方苑」70床、小規模多機能型居宅介護支援事業所「やすらぎの家」、複合型福祉施設「一想園」80床、医療型障害児入所施設「愛正会記念茨城福祉医療センター」135床を展開しております。

課題としては、高齢者の医療と生活、障害者の医療と生活、重度心身障害者の医療と生活、と多岐に渡ります。

平成時代の多数回の医療法改正や介護保険法改正、福祉制度の改正は、国家の一元的医療・介護・福祉の提供施策を地方に委ねることになりました。

医療圏毎にそれぞれの医療機関は自らの提供する医療機能を定め、医療機関同士の連携を強めることを求められています。当法人の所有する2病院は、回復期と慢性期の医療を担う存在とその性格を明らかにしました。即ち急性期医療や高度専門医療を支える医療機関を支えつつ、医療と福祉・介護施設との密接な連携のみならず地域社会生活の一部としての医療を常に意識した展開を追求しています。多彩な疾病を併せ持つ高齢者への医療提供は、



連絡先：横倉稔明 〒318-0003 茨城県高萩市下手綱 1951-6 医療法人愛正会やすらぎの丘温泉病院

URL：http://www.onsenbyoin.com

E-mail：onsen@onsenbyoin.com

Journal Website (http://www2.nms.ac.jp/jmanms/)



必然的に疾病毎の治療のみでは完結しません。患者さんの社会生活をも視野に入れた医療提供が求められます。そこで働く医師は、急性期、専門病院の医師並みの知識が要求されることもあり、かつ非専門領域の医療知識をも必要とされる場合が多々あります。看護師に至っては急性期医療の看護師に比してはるかに全人的看護を要求されております。

当法人では、積極的に生活の場での医療提供を図っており、24時間の在宅支援診療および訪問リハビリテーション、過疎集落でのフレイル予防、介護予防事業に取り組んでいます。このことは「住み慣れた地域で、最後まで健康に人生を全うする」という「地域包括ケア」の考え方の実践につながるもので、医師は診療科毎の専門性のみならずジェネラリストとして、その専門性を通して地域の街づくりに関わることとなります。

私たちの地域においても、行政を中心とした「地域において顔の見える協力体制を構築する」ため、多職種連携による活動を行うための様々な会議を開催し、地域の医師、看護師、薬剤師、セラピスト、社会福祉士、介護支援専門員、行政の担当職員等の様々な人々が集まり、地域における医療・福祉に関する諸問題を話し合い、地域一体となって自分たちの住む地域と住民の健康生活を守る方策を必死に模索しているところであります。これからの地方における医療・福祉は、自分たちは「何がしたいか」から「何ができるか」の時代に大きく変化していくと感じております。これからも医療従事者が圧倒的に不足している茨城県北部においてぎりぎりの職員数でも、地域医療福祉を守り、街づくりに貢献してゆきます。最後に、日本医科大学神経内科、腎臓内科、放射線科、小児科からの甚大なご支援に感謝して筆を擱きます。

(受付：2019年5月13日)